

ヴィシュヌ神と宇宙の創造

ポール・ホークウッドによる再話

あなたは、この精緻な宇宙がどのようにして存在するようになったのか、そして、なぜこれほどの美しい豊かさを見せるのか、不思議に思ったことはありませんか？ 物語や哲学的教えについてのインドの古代の教典の一つである『シュリーマッド・バーガヴァタ・プラーナ』は、宇宙の創造の物語や、私たちが知っているこの世界を形作った多くの主要な出来事について語っています。以下が、この驚くべき物語の展開です。

その創造以前には、地球も天国も光もなく、闇に囲まれた無限の海だけがあり、三つの世界すべてが、前の時代を終わらせた破壊の水の中に沈んでいました。至高なる意識の具現であるヴィシュヌ神は、ヘビの王である巨大で威厳に満ちたコブラ、心優しいシェーシャナーガのとぐろの上で休んでいました。シェーシャナーガは水の上に優雅に浮かび、それぞれが周囲の闇をわずかに明るくしている宝石で輝く千の頭は、守るように神の頭上を覆っていました。ヴィシュヌは、黄色い絹のきらびやかな衣服と、星のように輝く宝石を散りばめた黄金の冠を身に付けていました。ハスのような神の目は、瞑想と睡眠の中間のヨーガ・ニドラーの状態でかすかに開いていました。このようにしてヴィシュヌ神は、高い知識のある賢人たちに、確実に新たな創造の周期が来ると合図しました。

神は水のすみかに宿り、火の力が木の中に隠されているのと同じように、すべての生き物たちを彼の身体の中に霊妙な形で生かし続けていました。ヴィシュヌ神は、その破壊の水に独りで浮かび、一つのプララヤ、すなわち一つの宇宙と次の宇宙の間に生じる時間のない膨大な期間全体の偉大な至福に浸り続けました。ヴィシュヌ神は、その宇宙と宇宙の間の静寂の空間に気づいていました。それは以前にも起きていました。そして毎回、偉大な静寂が始まる前に、

神は正しい時に彼を目覚めさせる手はずを、大いなる時間と整えていました。そして、その時になって初めて、偉大なる神は生命とその生命が存在する多様な世界を創造するという彼の役割に着手するのです。そうして目覚めたヴィシュヌは、広大で魅惑的な宇宙を彼自身の中に思い描きました。そのビジョンで、この驚くべき創造が、そのあらゆる美と威光の中で現れるべきだと彼は決めたのです。

ヴィシュヌ神の宇宙を創造しようとする意志は、初めに彼のへそから現れた満開の素晴らしいハスの花として、彼の中で形になりました。この輝く花の中に、ヴィシュヌ神が創造の行為を託した神であるブラフマーが座っていました。

ブラフマーはハスの花から現れ、その目を四方八方に動かし、至る所に広がる彼の宇宙のビジョンと力を象徴する四つの顔を獲得しました。シェーシャナーガの体によって提供された荘厳なベッドに横たわるヴィシュヌ神の輝きと、宇宙を出現させようとするヴィシュヌ神の意図の力に陶醉し、ブラフマーは神のビジョンに従って宇宙を創造したいという強い欲求に満たされました。

ブラフマーは神の壮麗さを崇拝し、行われようとしている偉大な事業を祝福してくれるように祈りました。ヴィシュヌ神は言葉を発し、献身的な奉仕と神の崇拝に一点集中している時、「あなたはあなた自身の中に、そして宇宙全体に、私を見るだろう。そして、あなたと宇宙全体が私の中に存在していることが分かるだろう」と、ブラフマーに気づかせました。神からのこの祝福と共に、そして驚嘆の念で満たされ、ブラフマーは、星々、惑星、人類、その他のすべての生き物を生み出すことに没頭しました。

この物語を通して、『シュリーマッド・バーガヴァタ・プラーナ』は、私たちがこの世界のどこに住んでいても、実に多くの形で神の存在に出会う修練ができると教えています——空、海、山、大草原、星、月の光の印象、それらの生き生きとした本質に気づくことによって。大いなる意識

の光は、この地球のすべての人々、動物、植物の中に輝いています。創造されたすべての人、すべての物が、ヴィシュヌ神の美と輝きの反映なのです。



© 2021 SYDA Foundation®. 著作権所有。